

平成23年度 森プロ事業実績：東濃ひのきの里・美濃白川

(平成24年3月末現在)

	H20～22年度		H23年度				5カ年	
	計画	実績	計画	実績	達成率	備考	計画	
集約化(ha)	120	216	67	55	82%		240	
作業道(m)	9,500	7,056	5,500	2,869	52%	森林管理路	21,500	
間伐等	面積(ha)	70	85	50	64	128%	利用+切捨	187
	材積(m3)	4,300	2,894	2,800	1,354	48%	支障木含む	10,700
備考	団地外(自力含み)実績【利用間伐 144.90ha、搬出材積 4,456m3、作業路開設 5,388m】 平成22年度当初から施業集約化実施計画により、白川町12箇所計1,199haの集約化施業に積極的に取り組んでおり、団地内では間伐等の計画数量を達成することが困難となった。							

H23年度利用間伐等における所有者への還元額(補助金-経費)

5,776 円/m3

施業集約化の状況

- 平成24年度の施業予定地の所有者と長期施業受託契約を締結した。(10年間)
- 可茂建設業協会と協力して、白川町第1号の森林経営計画策定へ向けた地元説明会を開催した。

施業プランの活用状況

- 個別の箇所で施業プランナーが現地説明を行った。
- 市場関係者と現地調査を行い助言をもらうなど、施業プランの精度を上げる努力をしている。



図-1 森林経営計画 地元説明会

施業プランナーの養成状況

- 平成23年度 施業プランナー養成基礎研修 1名

施業プランナー活動実績発表

- 平成23年度 ステップアップ研修【経営管理者コース・プランナーコース・現場技術者コース】(群馬県)
- 平成23年度 ステップアップ研修【森林経営計画作成コース】(長野県)
- 平成23年度「緑の雇用」現場技能者育成対策事業研修【フォレストリーダー研修】(講師)



図-2 ステップアップ研修(群馬県)



図-3 ステップアップ研修(長野県)



図-4 フォレストリーダー研修(講師)

作業道の状況

- 平成24年3月末現在 作業路開設 約20.25m/人・日
- 昨年度に引き続いて、地元建設業者から線形及び路肩転圧等の指導協力をもって実施した。



図-5 作業道開設状況



図-6 完成した基幹作業道



図-7 完成した森林管理路

作業システムの状況

○ 平成24年度3月末現在 素材生産性 約4.01m³/人・日

- ① 伐採・造材・枝払い(チェンソー) → 集材(グラブプル) → 積込・運搬(フォワーダ) → 運搬(トラック)
- ② 伐採(チェンソー) → 造材・枝払い(ハーベスタ) → 集材(グラブプル) → 積込・運搬(フォワーダ) → 運搬(トラック)
- ③ 伐採(チェンソー) → 集材(スイングヤーダ) → 造材・枝払い(プロセッサ) → 運搬(トラック)
- ④ 伐採(チェンソー) → 集材(集材機) → 造材・枝払い(プロセッサ) → 運搬(トラック)



図-8 新規導入したMST-600VDL



図-9 レンタル導入したハーベスタ



図-10 AK-33での積込・運搬

その他

○ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、白川町及び町内木材関係団体と東海・東南海地震に備えて、『東濃ひのきの家 木造仮設住宅研究開発プロジェクト』に着手した。



図-11 岩手県住田町の木造仮設住宅を視察



図-12 住田町内の木材加工団地を視察



図-13 完成した木造仮設住宅『木づな』第1号

○ 作業班、請負業者を対象とした安全講習等を開催して、労働災害事故防止に努めた。

○ 森プロ団地内にて伐採シーン及び林業機械シーンの映画『キツツキと雨』撮影協力を実施した。



図-14 森林技術者を対象とした安全講習



図-15 森林技術者を対象とした『かかり木処理』講習



図-16 映画撮影協力時の記念写真

森プロの成果

- 現場技術者が各工程を交代で作業することによって、各自のスキルアップにつながり生産性が上がった。
- プランナーと現場技術者が作業日報の必要性を再認識して、コスト分析にかかるデータ収集を実施した。
- 少しづつながら、施業プランナーと現場リーダーが責任分担をして共通認識を持つことができた。

今後の課題

- 森林計画制度の改正に伴い、集約化計画から森林経営計画への順次移行する必要がある。
- プランナーの複数化による業務分担、作業班体制及び高性能林業機械の配置と調整をする。
- 県森林組合連合会や地域の木材流通・加工業者と連携を図り、多様な販売経路を確立する。